

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	立地条件が悪く、坂道は危険を伴う為、常時玄関開放は難しい。その分を別の事で利用者が満足できる支援を職員全員が心掛けたい。	拘束には身体・薬・言葉が考えられるがそれらをゼロにするには職員全員が定期的に研修会で習得する必要がある。	玄関を施錠している分、違う場面で利用者一人ひとりの希望を受け入れて、自由で充実した暮らしになるよう支援する。朝の短時間でも施錠を開放し、庭に出て朝日を浴びる等、少人数から支援する。	6ヶ月
2	56	利用者の寝具、タオル類の洗濯をこまめにし、居室のしつらえにも気づかう様、努めたい。	心地よい眠りについてもらうために寝具類の臭いや汚れを取り除き、利用者好みの清潔な居室を提供したい。	利用者全員に職員の担当を決め、職員は担当の利用者の居室を責任を持って清潔にする。	2ヶ月
3	38	利用者一人ひとりを尊重し、人生の先輩として尊敬する心を常に持つことができていない。職員側の都合で押しつけた声かけや行動になりがちである。	職員一人ひとりの意識改革が必要。利用者に自分を置き換えた時、「どのような施設を選ぶか、どのような介護を受けたいか」を考えると自ずから利用者中心の介護になるのではないか。	職員一人ひとりが利用者に対し、敬意を持つことを常に意識し、自分で言動を省みる様習慣づける。気になるところは職員同士、検討し合い質の向上に繋げる。	12ヶ月